

新型コロナウイルスワクチン 「職域接種」の協力量針を決定 全国主要拠点^{※1}での接種準備を開始

アイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長 大山 晃弘）は、職域での新型コロナウイルスワクチン接種を開始する政府の発表方針を受けて、ワクチンの職域接種に協力する方針を決定しました。

東京や大阪を含む 10 都道府県を対象にした緊急事態宣言の発出を受けて、新型コロナウイルスの感染拡大を抑止する観点から、ワクチン接種のスピード化が求められています。

当社は、政府の方針に従った運営体制や自治体、医療従事者と協働した上で、全国主要拠点^{※1}での安全な接種環境の実現に向けて準備を開始します。また、感染状況に応じて順次、接種拠点の拡大を検討します。

アイリスグループ従業員および家族の接種後には、ワクチンの確保と職域接種による接種対象範囲を確認した上で、地域住民に向けた接種環境を無償で提供することも検討しています。

<概要>

- ・開始予定日：2021年6月21日（月）
- ・接種候補地：全国主要拠点^{※1}

<接種対象>

- ・対象予定者：国内勤務のアイリスグループ従業員および家族の接種希望者

<その他>

- ・地域住民に向けた接種環境に関しては、接種会場の無償提供^{※2}を検討しています。

今後も新型コロナウイルス感染拡大の早期終息に向けて、行政ならびに業界団体と連携を図りながら、政府目標の「1日100万回接種」実現に向けた必要な支援を行ってまいります。

※1 インフルエンザ予防接種の実績ある会場を優先に検討

角田工場、大河原工場、埼玉工場、つくば工場、富士小山工場、米原工場、三田工場、鳥栖工場、
仙台本社、北目町ビル、アイリス青葉ビル、東京アンテナオフィス

※2 ワクチンの確保と職域接種による接種対象範囲を確認した上で検討